

# カイガラムシは もちるん!

# 幅広い害虫防除に!



チャノキイロアザミウマ



ゴマダラカミキリ

農林水産省登録 第23021号

## クミアイ ススラサイド<sup>®</sup> 乳剤40

ヤノネカイガラムシ  
(雌成虫)



ヤノネカイガラムシ  
(雄2齢幼虫)



クワシロカイガラムシ雌成虫(介殻)

介殻内の卵

**介殻は薬液をはじくので  
若齢幼虫期に薬剤散布する!**

サンホーゼカイガラムシ  
(ナシマルカイガラムシ)



アカマルカイガラムシ



フジコナカイガラムシ



ツノロウムシ



**マルカイガラムシ類を始め  
幅広いカイガラムシに有効!**

難防除害虫であるマルカイガラムシ類(アカマルカイガラムシ、クワシロカイガラムシ、ヤノネカイガラムシなど)を始め、コナカイガラムシ類、ロウムシ類などカイガラムシの種類を問わず安定した効果を示します。

**幅広い殺虫スペクトラム!**

カメムシ目、アザミウマ目、チョウ目、コウチュウ目など殺虫スペクトラムが広く、カイガラムシと同時に防除できます。

**効果の発現が速い!**

自然に学び自然を守る



®は全国農業協同組合連合会の登録商標

# 殺虫剤 クミアイ ススラサイド<sup>®</sup> 乳剤40

■有効成分：DMTP…40.0%  
■毒性：医薬用外劇物

## 適用害虫と使用方法

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	DMTPを含む農薬の総使用回数
みかん	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ (幼虫～未成熟成虫)	1500～2000倍	200～700 ℓ/10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内 (50～100倍 希釈散布は 2回以内)
	ルビーロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ミカンコナジラミ アカマルカイガラムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 カイガラムシ類 ユキヤナギアブラムシ フラーパーゾウムシ	1000～1500倍					
	ミカンキジラミ ミカンバエ成虫	1500倍					
	ゴマダラカミキリ成虫	1000～2000倍					
	サンホーゼカイガラムシ幼虫 ヤノネカイガラムシ (幼虫～未成熟成虫) ゴマダラカミキリ成虫	1500～2000倍					
	カイガラムシ類 アカマルカイガラムシ幼虫 ルビーロウムシ幼虫 ツノロウムシ幼虫 チャノキイロアザミウマ ユキヤナギアブラムシ ミカンコナジラミ ミカンキジラミ ミカンバエ成虫 フラーパーゾウムシ	1500倍					
おうとう	オウトウショウジョウバエ		3ℓ/m <sup>2</sup>	収穫7日前まで	3回以内	株元灌注	3回以内
小粒核果類	カイガラムシ類			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
まんごー	チャノキイロアザミウマ			収穫45日前まで	2回以内		2回以内
くり	ツノマルカイガラムシ	1000～2000倍		収穫前日まで			
にら				収穫30日前まで	1回	株元灌注	1回
らっきょう	ネダニ類	2000倍		収穫14日前まで		30分間 種球浸漬	
パイナップル	パイナップルコナカイガラムシ		200～700 ℓ/10a	収穫21日前まで	3回以内		3回以内
茶	チャノホソガ コムカンアブラムシ	1000～1500倍	200～400 ℓ/10a	摘採14日前まで	1回	散布	1回
	カイガラムシ類	1000ℓ /10a					
	チャノキイロアザミウマ チャノミドリヒメヨコバイ コカクモンハマキ	200～400 ℓ/10a					
プリムラ	キンケクチフトゾウムシ成虫	1000倍					
シクラメン			100～300 ℓ/10a		6回以内		6回以内
花き類・ 観葉植物	オンシツコナジラミ						
樹木類	カイガラムシ類幼虫	1000～1500倍	200～700 ℓ/10a	発生初期	5回以内	散布	5回以内
	ケムシ類	1000倍					
いぬまき	キオビエダシヤク	1500～2000倍					
庭木	フラーパーゾウムシ	1000倍					
イチイ	キンケクチフトゾウムシ成虫	1000倍					
げきつ	ミカンキジラミ	1500倍					
すいせん	ネダニ類	1000倍	100～300 ℓ/10a	6回以内	6回以内	30分間 球根浸漬	
	キュウコンコナカイガラムシ						

## 効果が期待できる主要害虫

害虫の分類	害虫名	効果	
クモ綱	ダニ目	コナダニ科	ロビンネダニ ○
昆虫綱	アザミウマ目	アザミウマ科	チャノキイロアザミウマ ○
			ミナミキイロアザミウマ ○
		クダアザミウマ科	カキクダアザミウマ ○
		ヨコバイ科	カノヒメヨコバイ ○
			チャノミドリヒメヨコバイ ○
		キジラミ科	ミカンキジラミ ○
	カメムシ目 I	アブラムシ科	ユキヤナギアブラムシ ○
			リンゴワタムシ ○
		コナジラミ科	ミカンコナジラミ ○
			オンシツコナジラミ ○
		コナカイガラムシ科	マツモトコナカイガラムシ ○
			パイナップルコナカイガラムシ ○
			キュウコンコナカイガラムシ ○
			フジコナカイガラムシ ○
			クワコナカイガラムシ ○
			ミカンヒメコナカイガラムシ ○
		カタカイガラムシ科	ツノロウムシ ○
			アカマルカイガラムシ ○
			カツラマルカイガラムシ ○
			サンホーゼカイガラムシ (ナシマルカイガラムシ) ○
ミカンマルカイガラムシ ○			
クワシロカイガラムシ ○			
マルカイガラムシ科	ウメシロカイガラムシ ○		
	ヤノネカイガラムシ ○		
	ツアオカメムシ ○		
	クサギカメムシ ○		
	チャバネアオカメムシ ○		
	ゴマダラカミキリ ○		
カメムシ目 II	カメムシ科	ツアオカメムシ ○	
コウチュウ目	カミキリムシ科	ゴマダラカミキリ ○	
ハエ目	ショウジョウバエ科	オウトウショウジョウバエ ○	
チョウ目	ハマキガ科	ナシヒメシンクイ ○	
	ハモグリガ科	モモハモグリガ ○	
		ギンモンハモグリガ ○	
	シンクイガ科	モモシンクイガ ○	
	ツツガ科	モモノゴマダラノメイガ ○	

【注意】実際の薬剤使用時には、使用する薬剤の登録内容（作物名、適用病害虫名、希釈倍数、使用液量、使用時期、本剤の使用回数、使用方法等）を確認し、必ず遵守してください。また、同じ害虫種であっても、各地域の個体群間で感受性が異なる場合があるため、その際は地域で得られている知見を優先させていただきます。

## 注意事項

- 石灰硫黄合剤、ホルドー液等アルカリ性薬剤との混用はさけてください。
- 茶のコカクモンハマキの多発時には効果が劣るので注意してください。
- オンシツコナジラミには約7日間隔で2～3回繰返して散布してください。（成虫及び若令幼虫に有効）
- 花卉・花木類はあらかじめ安全を確かめてから使用してください。但し開花時には使用をさけてください。（薬害）
- フラーパーゾウムシ及びミカンキジラミに使用する場合は、植物防疫（事務）所、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 使用時に結晶が見られる場合は、容器をよく振って結晶を溶解してから使用してください。また、危険であるため加熱しないでください。
- 使用量、使用時期、使用方法を守ってください。適用作物群に属する作物又はその新品種にはじめて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- 医薬用外劇物ですので、取り扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当てを受けてください。使用中に異常を感じた時は直ちに医師の手当てを受けてください。
- 薬液調製時には保護メガネを着用し薬剤が眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗いし、眼科医の手当てを受けてください。（原液は刺激性）
- 皮膚に付着しないよう注意してください。皮膚に付いた場合には直ちに石けんでよく洗い落してください。（刺激性）
- 使用時は防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをして衣服を換えてください。
- 作業時の衣服等は他と分けて洗濯してください。
- かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合、使用区域に縄目や立て札をたて、使用中及び使用後（最小限の当日）関係者以外は立ち入らせないでください。小児、人畜等に留意してください。
- 施設内の散布では換気も十分注意し、散布液が施設内にこもらないようにしてください。
- 桑葉にからまないよう注意してください。（蚕害）
- ミツバチの巣箱及びその周辺にからまないようにしてください。（養蜂）
- ミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用をさけてください。
- 養蜂地区では周辺への飛散に注意する等危害防止に努めてください。
- 河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意してください。（甲殻類）
- 散布器具及び容器の洗浄は河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 使用量に合わせ薬液を調整し、使いきってください。空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗いし、適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。

## カイガラムシの越冬と防除適期（幼虫発生時期）—東海地区A県の例—

カイガラムシ種類	越冬世代	発生回数/年 (産卵回数)	幼虫のおよその防除適期*
クワシロカイガラムシ	成虫	2～3回	5・7・9月
ミカンヒメコナカイガラムシ	主に1～2齢幼虫	3～4回	5月中旬、6月中下旬、8月中下旬
フジコナカイガラムシ	2齢幼虫	3回	6月上旬、7月中旬～8月上旬、9月上旬～中旬
ミカンマルカイガラムシ	成虫	2回	6月中旬、8月中旬
サンホーゼカイガラムシ (ナシマルカイガラムシ)	1齢幼虫	3回	5月下旬～6月中旬、7月中旬～8月中旬
ヤノネカイガラムシ	成虫または幼虫	2～3回	6月上旬～中旬、8月下旬～9月上旬
ルビーロウムシ	成虫	1回	6月下旬～7月上旬
ツノロウムシ	成虫	1回	6月下旬～7月上旬、7月下旬～8月上旬

\*地域、天候により、防除適期は異なります。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌に記帳しましょう。

\*この資料は、平成28年3月2日現在の知見に基づき作成したものです。

1268(16-3)